

活動報告

団体名	震災復興支援協会つながり
活動名	被災地復興のための支援活動
活動期間	2018年7月～2018年12月
活動の成果	<p>活動に初めて入るお宅ではボランティアに頼んだ事もなく作業の説明はしていますがどう作業するのかもわからないので少し警戒していたり遠慮をしていたりしていましたが何日か続けて活動していく中で自宅が綺麗になっていくのを見て丁寧な作業に喜んで頂き感謝の言葉を頂き災害時や家族の事や色々な話をしてもらえたり進んで近隣や知人に困っている人がいると紹介してくれたり信頼関係を築くことが出来ました。</p> <p>私達が来ることが嬉しくて励みになると一緒に作業されたり、自宅でも笑顔が増えたと家族の方から聞きました。団体のピブスを必ず着て活動しているので依頼されていない人でも出会うと感謝の言葉を頂くこともありました。</p> <p>広島県三原市の活動が終わった際に三原市長と面談させて頂き感謝の言葉を頂き感謝状をお送りしますと伝えられました。</p> <p>岡山拠点として使わせて頂いていた個人宅の方から活動終了後道具類を保管して頂けることとなり今後災害が起きた時に直ぐに持って行きますと仰ってもらいました。</p> <p>地元は特に県外からも初めてボランティアに参加する方が多く次に災害が起こった時の為にも多くの経験者が育ったと思います。</p> <p>課題として今回は3拠点運営していた事もあり必要書類統一の徹底、人員配置変えをしてリーダー教育を経験のある各人が各々の経験から伝え学んでもらう必要性があると感じました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>東日本大震災後宮城県南三陸町を拠点として活動を続けております。毎年起こる全国各地での災害、震災の被災地への支援活動は東日本大震災で宮城県に多くの方々が助けに来て頂いた恩返しとして続けております。</p> <p>災害当初広島県三原市民の方から被災してしまいどうしたらいいかとの連絡が始まりで、既に当団体は広島に向けて動き始めている中で行き先が決まり、ボランティア及び支援物資の受け入れ先でもある拠点が到着前に決まり、三原市議会や社会福祉協議会とも連携してスムーズに活動することが出来ました。</p> <p>被災者の方々は今まではTVの向こう側の出来事だと思っていた災害が自分のこととなり途方に暮れこの家をどうするのか判断に迷っていましたが当団体にボランティアの依頼をされご自宅が綺麗になっていくと前向きになりやはり住みたいと希望を持ち、私達が来ることが嬉しく励みになると一緒に作業されたり、家族みんなが自宅で暗い顔をしてたのに今は笑顔になっていると聞かされました。</p> <p>広島及び岡山での活動を続け被災者及び地域の方々から信頼され感謝の言葉を沢山頂いたのも赤い羽根共同募金へご寄付をされた方々の応援を頂き、助成を受けられたことにあると大変感謝をしております。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

